

図書館だより

Serendipity

・セレンディピティ

2011（平成 23）年
9月20日発行 第27号

〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎 4490-9

Tel0952-37-9299、Fax0952-53-7869

<http://www.kanzaki01.nisikyu-u.ac.jp/library/>

発行：西九州大学附属図書館



（資料の貸出・返却やその他の手続きについて）



（書架の並び方、参考図書の利用について・F1）

図書館ガイダンス(研究室、ゼミ、学年別に実施)

- ・図書館ガイダンスー基礎編ー：主に新入生や初めて利用する方に（図書館WEB、OPAC の使用法）
- ・論文作成のための文献収集法：論文やレポートを書く学生に（オンラインデータベースで論文検索の実習）
- ・新任大学教員、大学院生対象：本学図書館の紹介、データベースや電子ジャーナルの紹介



（新聞の配架場所、資料の探し方について・B1）



（OPAC やデータベースの使用法について・情報処理室）

目次

私のオススメの本 社会福祉学科 准教授 池田 久剛 P.1	環境保全活動への新たな取り組み 平成 23 年度アクションプログラム P.4
私と図書館① 健康栄養学科 4 年 P.2	図書館利用状況 P.5
知念 美沙 照屋 円香		選書ツアー参加者募集	
私と図書館② リハビリテーション学科 3 年 P.3	ある日の図書館日誌から P.6
友田 照三		図書館を上手に使おう！	
		<PART 3> P.7
		編集雑感	

私のオススメの本

『間違ってますか？私だけですか？14才のココロ』

著者：藤波 心 徳間書店 定価 1,050 円

社会福祉学科 准教授 池田久剛

「落語」にはストーリーがあり、起承転結もある。昔は漫才も、短いとはいえストーリーを持っていた。しかし、最近のTV、特にバラエティーは、ひどい。ストーリーがない。一瞬で何もかもが終わる。瞬間芸？一発ギャグ？ショートコント？

昔も「どっきりカメラ」なる番組はあった。そしてそこでは、丁寧にストーリーが作り込まれていた。しかも相手は、多少なりとも功成り名を遂げた人物であり、強いもの、権威に対する、反発があった。しかし最近では、発展途上の若手芸人を、地位を固めた芸人が、スタジオで、「仕事が欲しかったらこんな仕事でもえり好みしないでやってみろ」とばかりに、笑い飛ばす。ストーリーなんかあって無いような脅かしで、びっくりした顔をおもしろおかしくカメラで大写しにする。強いものが弱いものをいたぶって楽しんでいるかのような。

ミヒヤエル=エンデが『はてしない物語』で寓話化した、物語を失い闇に飲み込まれていく世界のような。そこで物語を取り戻すべく、闇に立ち向かってストーリーを物語ろうとしたのはセバスチャンだが、3.11 後、この国にもう一度、物語を取り戻そうとしているのが、藤波心なのかもしれない。彼女は書く。

「私の日記で、みなさんが／いろいろ考えていただけきっかけの1つになったのなら、私としては中傷されても書いてよかったと思っています。」**「みなさんにもこの機会にいろいろ考えてほしいから／アホな頭をしぼって文章書いています。」**

ストーリーのない笑いは感覚のそれであり、物語の欠如は考えること、「思考」の欠落に由来す



るのではなかろうか。そして私たちは、ストーリーを失う背景で、「思考」そのものを失ってきってしまったのではないか。彼女は、原発の恐ろしさと同じくらい、今の私たちが、ものを「考える」ことをおろそかにしてしまっていることを、恐れているんじゃないだろうか。彼女は書く。

「自分の意見だと思い込んでいるだけで、／実は、原子力は世の中に必要なんだという／誰かのPR 刷り込みだということを気がついてないんじゃない？」

私たちが「思考」を失うほど、コマーシャルにおいて「刷り込み」は威力を発揮する。3S [Screen (スクリーン←最近では TV や、PC)、Sport (スポーツ)、Sex (セックス)] にうつつを抜かしている場合ではない。彼女は精一杯、今の彼女にできる、ストーリーと寓話で、彼女が理解している状況を語る。

「人にどう言われようが、叩かれようが、／はっきりと、自分はこう思っているんだって言いたい。／その結果、ファンが減っても、私は仕方ないと思っています。」

視聴率に一喜一憂する TV、スポンサーの顔色を伺わなければ発言できないマスコミ、世論調査に右往左往するポピュリストたち、そういう「他人の顔色」でしか自分の行動を方向付けられない大人たちに対して、彼女は、自分のストーリーで、自分の「考え」を語る。

自分の物語を取り戻そう、14 歳に、負けるな、大学生!!

私と図書館①

健康栄養学科4年

知念 美沙

照屋 円香



幼なじみで、小学校からずっと一緒に進学してきたという知念さんと照屋さん。
将来の目標は、管理栄養士の資格を取得し沖縄で管理栄養士として働くこと！
目標に向けて頑張っている二人に、図書館員Nがお話を伺いました。

図書館員N：図書館をどんな時に利用していますか？

照屋さん：研究室で国家試験の勉強をしていますが、たまに気分を変えて勉強するために図書館に来ています。

知念さん：国家試験の勉強に来ています。一人で集中して勉強したいので、静かな図書館で勉強しています。

2年生の頃は、実験の後に課題が出てよく調べに来ていました。

図書館員N：調べに来たとき、探しているものは見つかりましたか？

照屋さん：細かく載っていないときもありました。

図書館員N：探しているものが見つからないとき、こんな本があったら良いという本があったら教えてください。

知念さん：メディックメディアが出版している疫学の本があるんです。疫学が結構難しいのでその本が欲しいです。

図書館員N：具体的にありがとうございます。これからも欲しい本があったらリクエストしてください。

図書館員N：図書館では、他にどんなことをしていますか？

知念さん：雑誌を見たり、たまに話題の本を見たりしています。

照屋さん：料理の本も見ます。献立をたてるのときに見たりしています。

知念さん：私は料理が苦手なんですけど、『オレンジページ』は簡単で読みやすくおすすめです。

図書館員N：最後に後輩に向けてメッセージをください。

知念さん：図書館は静かなので、集中して勉強するのにとても良いです！

図書館は勉強する人だけが行く場所だと思っているかもしれないけど、ファッション誌や趣味の雑誌も置いてあるので気分転換もできます。静かで適温、居心地も良いので是非図書館に行ってみてください！

照屋さん：静かな場所・楽しくないイメージを持っている人もいるかもしれないけど、まずは一人でも良いから来てみてください。

「気軽にふらっと！」どんなものがあるか見てみるだけでも良いし！

上手に図書館を利用してみてください！



私と図書館②

リハビリテーション学科3年 友田 照三



私が高校生の時は、図書館とはほぼ無縁でした。3年間で本を借りて読んだのも何冊かでした。また私にとって図書館とは、本を読む場所としか思っていないでした。しかし、西九州大学に入学し専門のことを学んでいると、講義だけでは分からなかったところが出てきました。そういう時に、調べ物をするために図書館へ行くようになりました。

1年生の時に本試験で落としたことをきっかけに、夏休みも9月からは毎日といっていいほど図書館に通いつめました。3年生になってからは国家試験の対策で友達と残って勉強したり、卒業論文の文献を調べたりするときにも図書館が大活躍です。今となっては、ほぼ毎日といっていいほど図書館を利用していると思います。

高校生の時はあの静かな空間が苦手でしたが、今となっては勉強するなら図書館です。落ち着いて勉強ができます。

また、図書館には色々な分野の本があるので専門分野に限らず、疲れたときなどは他の本も読んだりして知識の幅を広げることができます。もはや私の勉強時間のほとんどは図書館といっても過言ではないと思います。

まだまだ図書館を使いこなせていない部分もあると思います。それではもったいないと思うので、もっと図書館のことを知り自分に合った使い方が出来るようになりたいです。図書館に毎日通えるのもおそらく在学中ぐらいだと思うので、卒業までたくさん使っていきたいです。

人によっては図書館も向き不向きがあると思います。私も最初は、自分に図書館は向いてないと思っていました。しかし使っていくうちに、だんだんと慣れていきます。今、図書館を苦手と思っている人もどんどん図書館を活用してみてください。

図書館用語解説

製本雑誌

(読み：せいほんざっし)

過去の雑誌を数冊～数十冊ずつまとめ、ハードカバー本のような形に製本したものだ。

雑誌は長期保存に向かない素材でできているものも多いので、保存整理のために製本されている。

新聞縮刷版

(読み：しんぶんしゅくさつばん)

過去の新聞を縮小して印刷し、索引をつけて出版した資料。基本的に月ごとにまとめている。

近年は電子版もあり、DVDなどで過去100年以上遡って見る事ができるものもある。

環境保全活動への新たな取り組み

ー グリーンカーテン作り ー

今年もまた暑い夏がやってきました。東日本大震災の影響もあり、あちらこちらでエコ活動が盛んに行なわれています。図書館では二酸化炭素削減行動として、長年パソコン端末利用者より吹き抜け中央部より熱気が来てとても暑いとのクレームに応えるため、吹き抜け天井部に朝顔とゴーヤによるグリーンカーテンづくりに挑戦しました。何分慣れないことで、館員数名汗だくになり、また虫にさされながらも竹林の竹を伐採して網部の支柱として利用しました。10日間程図書館ベランダで大事に育てた後、5号館2F屋上の吹き抜け天井部へと移動させましたが、果たして強風や炎天下で育つか心配されました。

しかし、現在では、緑の葉やつるが生き生きと育ち、図書館員のアイドルとして成長しています。吹き抜け天井をグリーンカーテンで覆ってしまう日も間近かと思われます。また、副産物のゴーヤの実も楽しみです。

二酸化炭素削減行動計画としては、この他に廃棄物排出量の削減のための取り組みとしてインクカートリッジを回収して再製造用に回すなど、推進委員の指示の下二酸化炭素削減行動隊員を中心にして一致団結して二酸化炭素削減行動に取り組んでいます。



☆☆☆☆☆☆アクションプログラム☆☆☆☆☆☆

平成23年度アクションプログラム（◎印は優先検討事項）

◎図書館の整備充実

- (1) 図書館業務の効率化
- (2) ICT型図書館への改善
- (3) 電子図書館化の推進（利用データベースの見直し）
- (4) 利用環境の改善

○地域社会との連携強化

- (1) 図書館の地域開放
- (2) 地域コレクション等の充実

*第2次中期目標・計画＜平成22年度～25年度＞も2年目にはいりました。



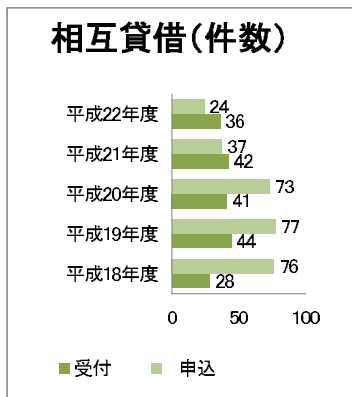
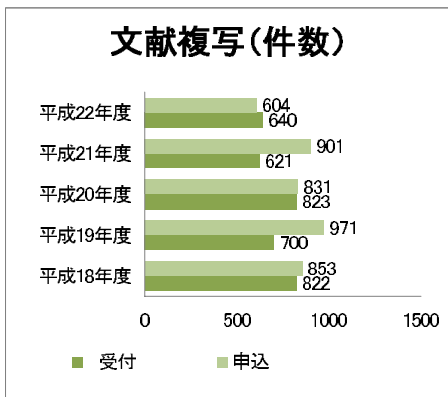
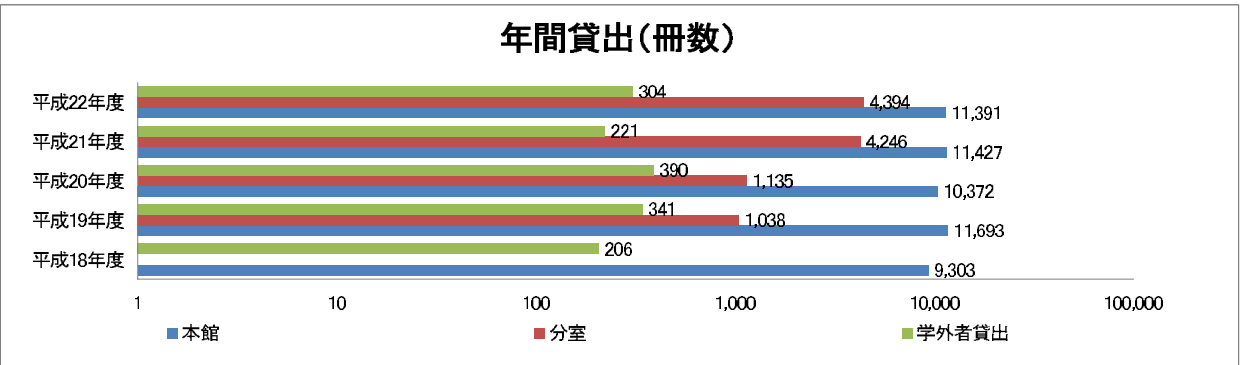
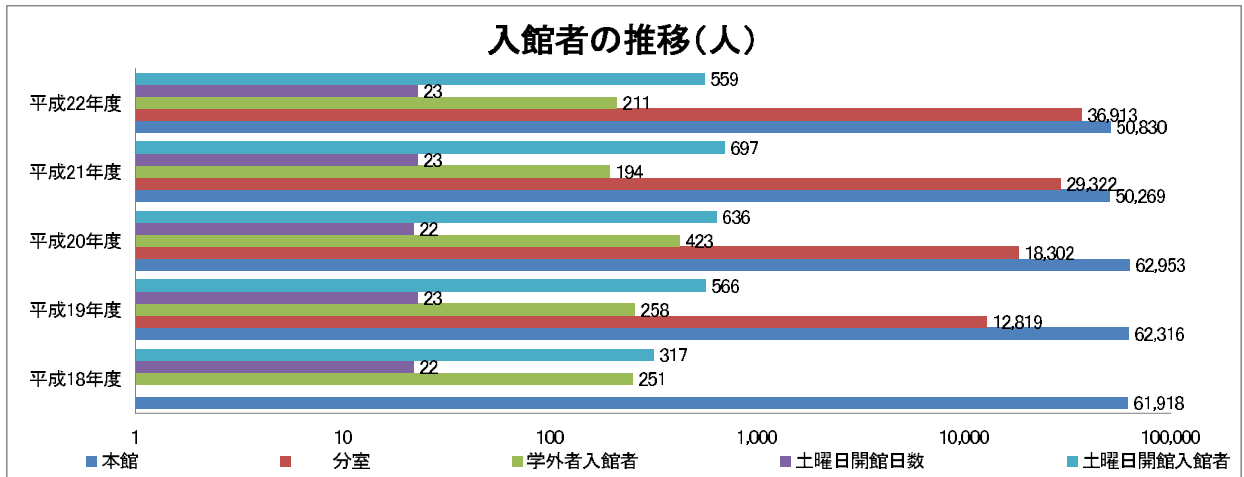
図書館利用状況

条件/年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均	合計	
入館者の推移	本館	61,918	62,316	62,953	50,269	50,830	57,657	288,286
	分室		12,819	18,302	29,322	36,913	24,339	97,356
年間貸出冊数	本館	9,303	11,693	10,372	11,427	11,391	10,837	54,186
	分室		1,038	1,135	4,246	4,394	2,703	10,813
学外者の利用状況	入館者数	251	258	423	194	211	267	1,337
	貸出冊数	206	341	390	221	304	292	1,462
土曜日開館利用状況	入館者数	317	566	636	697	559	555	2,775
	開館日数	22	23	22	23	23	23	113
文献複写申込件数	受付	822	700	823	621	640	721	3,606
	申込	853	971	831	901	604	832	4,160
相互貸借申込件数	受付	28	44	41	42	36	38	191
	申込	76	77	73	37	24	57	287

分室・・・平成19年度開設

青→入館者の推移(人)グラフへ

赤→年間貸出(冊数)グラフへ



西九州大学蔵書構成

蔵書冊数 94,686(8,674冊)
 所蔵雑誌タイトル数 2,201 (154種)
 新聞タイトル数 25 (2種)

内(洋書・外国語)

H.23.3.31 現在

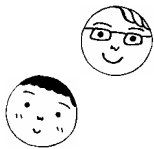
選書ツアー参加者募集！！

図書館では本年度新たな取り組みとして、「選書ツアー」を実施することになりました。

これはサポーターが、図書館で購入したい図書を選定するという取り組みです。その流れとしましては、自分の読んでみたい本を書店に行き、一定の金額内で選んでもらい、その後選書した図書は自館の所蔵との重複・チェック後発注し、選んだ本の中から購入したものが本棚に並ぶことになるわけです。このツアーの目的は、図書館の選書に加わることで、蔵書への関心を呼び起こし図書館利用を促進し、また学生が求める図書資料の傾向を知ることができるという狙いがあります。

本年度第1回の予定は、次の通りです。皆さん方の積極的なご参加をお待ちしています。


1. 日程：10月15日(土) 午前9時30分 バス駐車場集合後出発
会場到着後 2時間程度 現地解散(希望者にはバス送迎有)
2. 場所：紀伊國屋書店福岡本店(博多駅)
3. 定員：各学科2～3名程度 (定員になり次第締め切ります。)
4. 備考：アンケートに答えて、簡単な紹介文を提出いただいた方には
もれなく図書カードをプレゼント！ (詳細は図書館カウンターまで)




ある日の図書館日誌から・・・




～借りた本の責任は誰にある？～


 : 延滞中だった学生が貸出手続きに来て、延滞中だから貸出できない事を伝えると、「その本のことを知らない」とか「借りた覚えがない」とかよく言われるんですよね・・・。


 : 知らない？ 覚えがない？ 何で??


 : 手元に本がないから忘れてるみたいで、よくよく話を聞いたら、「友達が借りたい本をかわりに借りてあげたんだ」とか「グループ演習で使ったんだ」とかって思い出すみたいで・・・。

 : また貸してこと?

 : そうなんです。中にはその本がなくなったり、汚れて返ってきたりすることがあるんです・・・。

 : そんなことがあるんだ!!

 : 本は借りた人に責任があるから、延滞してたらその間の貸出はできないし、なくなったり汚れたりしたら、借りた人が弁償しないといけないってことを知ってもらいたいね。

 : そうですね!!

今回のように、「借りられなかった友だちの分を借りた」とか、「グループ演習等で共同で使用するから」など、借りた本が借りた本人の手元にないというケースが多いようです。理由はどうであれ、借りた本の責任は、学生証を提示し貸出手続きをとった人にあります。様々なトラブルを避ける意味でも、借りた本は責任もって管理しましょう!!

図書館を上手に使おう！ PART3

みなさんは、図書館で資料を探す時に戸惑ったことはありませんか？ここでは、図書館で調べ物をする時に知っておくと便利なことを紹介しています。

今回は「図書」についてでした。今回ご紹介するのは「雑誌」についてです。

♪ 雑誌（逐次刊行物）について知ろう！

「雑誌」と聞いて、まず何が思い浮かびますか？ファッション、音楽、漫画などの雑誌が身近にあると思います。これらの物は月に1回や週に1回など決まった時に発売されます。このように定期的に発行される雑誌などのことを、「逐次刊行物（ちくじかんこうぶつ）」といいます。

* 逐次刊行物って・・・？

図書館には逐次刊行物として次のようなものがあります。

・新聞

佐賀新聞、西日本新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、JAPAN TIMES、科学新聞、福祉新聞を所蔵しています。

・学術雑誌

研究者が執筆した論文が載せられています。学会で発行されたものと、出版社が発行したものがあります。図書館では主にこれらを雑誌と呼んでいます。

・紀要

大学や研究所が発行し、研究の成果が載せられた学術雑誌です。

図書館のOPAC（検索端末）で検索すると、「かんざき 逐次刊行物」「神園 逐次刊行物」で検索結果が出ますが、「紀要」「新聞」「学術雑誌の一部」は登録していませんので、検索しても出てこないものもあります。未登録の資料は国立情報学研究所の「Webcat Plus」で、当館の所蔵の有無が検索できますのでご利用ください。

また OPAC では、論文の検索ができませんので、「CiNii」や「JDream II」などの検索ツールを使って調べてみましょう！！

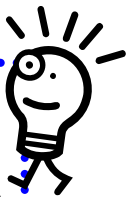
★調べ物のヒント！ ～図書と雑誌の一長一短～

雑誌は図書よりも研究成果が早く掲載されるので、情報を早く伝えます。

図書はそれまでの研究の情報や知識がまとめられているので、雑誌よりも情報がより詳しいです。

情報の速さ 新聞 > 雑誌 > 図書

情報の詳しさ 図書 > 雑誌 > 新聞



編集雑感：今年は何とんでも東日本大震災が発生し、生活環境が一変したことです。図書館でも吹き抜け天井にグリーンカーテンを張るなど、微力ながらエネルギー節減に館員全員で取り組んでいます。また、初めての試みとして、学生自身が図書館に置いて欲しい本を直接選ぶ「選書ツアー」も実施予定です。なお、「図書館を上手に使おう！」コーナーも今回で3年目になります。今までの知識を上手に使って図書館を使いこなして下さい。これからもいろいろな取り組みにチャレンジしていきたいと考えています。皆さん方のご利用を心よりお待ちしております。